

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

小学校

国語
六

令和2年3月改訂

はじめに

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校では、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成しました。これは、福岡県学校教育振興プラン（平成27年12月）において、「小学校中学年までの児童に対し、読解力と基礎的な計算能力の育成を中心とした取組等の強化を図る」とされていることに対応しています。

この度、小学校においては令和2年度から学習指導要領（平成29年告示）が全面実施となることを受けて、改訂を行いました。

本教材集は、大問（主に基礎的・基本的な知識・技能を活用する力を育成する教材）と小問（基礎基本の定着を図る教材）で構成しています。

大問については、指導計画に位置付けた次のような活用が考えられます。

- 授業の主教材として活用する。
- 適用問題や発展問題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

小問については、朝の活動や家庭学習等での次のような活用が考えられます。

- 朝の10分程度の時間で小テストやプレテストとして繰り返し活用する。
- 授業（教科書の内容）と関連付け、家庭学習課題として活用する。
- 習熟度別指導等の問題として活用する。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題として活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和2年3月

福岡県教育委員会

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

目次

1 一単位時間程度で活用する教材（大問）

① おたがいの立場や意図を考えながら話し合おう。 (話すこと・聞くこと)……………	2
② 意見を述べたり活動を報告したりする文章の書き方を考えよう。 (書くこと)……………	4
③ 登場人物の心情や優れた表現上の工夫をとらえ、自分の考えをまとめよう。 (読むこと)……………	6
④ 資料や文章から読み取った内容を根拠に、自分の考えをまとめよう。 (読むこと)……………	8

大問①～④の出題の趣旨、正答について	10～13
--------------------	-------

2 10分程度の短い時間で活用する教材（小問）

① 明確に伝わるように、話の構成を工夫しながら話そう。 (話すこと・聞くこと)……………	14
② 場に応じた適切な言葉づかいで話そう。 (話すこと・聞くこと)……………	15
③ 自分の意見を筋道立てて話そう。 (話すこと・聞くこと)……………	16

④ 話し手の意図をとらえ、自分の意見とくらべて考えをまとめよう。
(話すこと・聞くこと)……………

⑤ 目的に合わせて、図表やグラフを用いて書こう。 (書くこと)……………	17
⑥ 自分の課題について調べ、事実と感想・意見を区別して書こう。 (書くこと)……………	18
⑦ 文章全体の構成の効果を考えて書こう。 (書くこと)……………	19
⑧ 表現の効果について工夫しながら書こう。 (書くこと)……………	20
⑨ 二つの文章を読んで、表現や構成のちがいを読み取ろう。 (読むこと)……………	21
⑩ 文章の内容を正確にとらえて要旨を読み取ろう。 (読むこと)……………	22
⑪ 事実と感想、意見などの関係をとらえ、筆者の主張を読み取ろう。 (読むこと)……………	23
⑫ 登場人物の関係や心情、場面の描写について読み取ろう。 (読むこと)……………	24

小問①～⑫の正答について	26～28
--------------	-------

第六学年「めあて」「おたがいの立場や意図を考えながら話し合おう。」

() (組) () (番 名前) ()

Ⅰ 原田さんの学級では、今までに、市内の福祉施設を数回訪問してきました。そして次回は、その福祉施設で暮らす高齢者の方々を、学校に招待することになりました。板書した【目標】、【活動案】をもとにおこなわれている【話し合いの一部】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【目標】

高齢者の方々に自分たちの学校生活をしようかいし、交流活動をみんなが楽しみながら、たがいの理解を深める。

◆プログラム◆

【活動案①】 校歌、学級の歌、自分たちの好きな歌を、発表する。

【活動案②】 各班に分かれて、おはじき、お手玉、あやとり、コマなどの伝統的な遊びを、高齢者から教わりながらいっしょに楽しむ。

【活動案③】 各班で書いた手紙を読み上げ、学級園で育てた花をプレゼントする。

【話し合いの一部】

山口 (司会)	今日は、この前の会で出た【活動案】の内容を検討します。(板書を指しながら)この三つの【活動案】について、みなさんの意見を出してください。	井上	島田さんの意見とはちがうのですが、私たちが高齢者の方々に何かをしてあげて楽しんでもらうという考え方でなく、 ㉞ という考え方は、大切だと思います。そうでなければ本当の心の交流ができないのではないのでしょうか。
	原田		ぼくは、①の案はこのままでは【目標】にかけている内容の「たがいの理解を深める」に合っていないと思います。なぜならば、 ㉟ です。
中村		私も原田さんと同じように考えます。そこで、「自分たちの好きな歌」を、 ㊱ 「 ㊲ 」にしたらどうでしょうか？事前に福祉施設の職員の方にお話を聞き、どんな歌を歌ったら、喜んでもらえるか、楽しんでもらえるかと考えることで、いっしょに楽しめる会になると思います。	川村

問1 原田さんは、【活動案①】は目標の「たがいの理解を深める」の内容にあっていないと考えています。あっていないと思う理由をどのように考えていると思われますか。その理由を考えて⑦に入る言葉を書きましょう。

問2 中村さんは、【活動案①】は、「自分たちの好きな歌」の内容を変更すれば、目標にあうと考えています。⑧には、中村さんが考えた変更案が入ります。⑧にあう言葉を書きましょう。

問3 ⑨の部分で、井上さんは、島田さんとは別の考えを述べています。井上さんの考えを書きましょう。

問4 ⑩の部分で、山口さんは司会者として、話し合いをうまく導いています。何と言ったらよいでしょうか。ふさわしい言葉を考えて書きましょう。

問5 ⑪の部分で、川村さんは、花をプレゼントすることには反対して

います。川村さんに続けて、あなたが自分の意見を述べるとしたら、何と言いますか。川村さんの考えに賛成か反対か立場をはっきりさせて、そう考える理由を書きましょう。

《コラム》——話し合いをスムーズにするために——

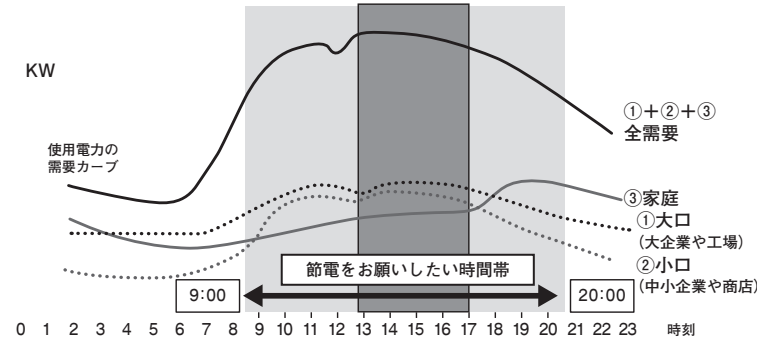
話し合いでは、自分の立場を明確にすることが大切です。自分より前に述べられた意見に対して、まず、①賛成、②反対、③補足^{ほそく}など、どの立場なのかをはっきりさせます。そして、理由を付け足しましょう。

例 私は〇〇さんの意見に賛成です。そのわけは……だからです。

※話し合っている目的を常に確かめながら、意見がそれないようにします。他の人の意見をよく聞いて、そう述べている意図を理解するように心がけましょう。

【意見文】

夏季における電力需要の推移



※九州地方は日の入り時間が遅いため夕方17時までピーク時間を想定している。

(出典)九州経済産業局 資料(福岡県における夏季の節電への取組/福岡県緊急節電対策本部 平成25年5月30日)

停電は、わたしたちの生活に大きな混乱を引き起こす。したがって、それを防ぐための節電は、電力の安定供給のためにとっても大切なことだ。「節電は生活を不便にするから大変だ」と思う人がいるかもしれない。しかし、生活を不便にすることなく節電することは可能だと、わたしは考える。なぜなら、多くの人がまだ実行していない節電のための工夫が、いろいろとあるからだ。

電力の安定供給のためには、電力需要の多い時間帯の節電が有効だ。上のグラフから、家庭の電力需要のピークは、18時から19時ぐらいであること、また、全需要では12時から17時までであることがわかる。これらピーク時の電力消費量を減らすために家庭でできることは、電化製品の使用について、全需要のピークの時間帯をずらすことである。たとえば、早朝や夜間に洗濯をするといった方法だ。

また、家庭の電力消費量全体を低くするためにも、いろいろな方法がある。照明をこまめに消す、エアコンの設定温度を上げるといったことを実行することだ。電気から他のエネルギーに切りかえることもできる。たとえば、電気ポットではなくガスで湯をわかすといった方法である。

これらのことを実行しても、生活の利便さはそれほど失われないうだろう。そして、一つ一つの行動の効果は小さくても、全体では確実に節電の効果があがるはずだ。そうすることで電力の安定供給が可能になると考える。

第八学年「めあて」【意見を述べたり活動を報告したりする文章の書き方を考えよう】。

2 ゆかさんの学級では、節電をテーマに意見を書きました。そして、夏休み後に各自の活動についての報告会を行いました。次の【意見文】と【報告書の下書き】を読んで、あとの問いに答えましょう。

() (組) () (番) 名前 ()

問1 ゆかさんは、意見文の中で、夏季における電力需要の推移のグラフをどんな意見の根拠として使っていますか。意見文の中の言葉を使って書きましょう。

問2 ゆかさんは、自分の意見を伝えるために、文章を構成する上で、いろいろな工夫をしています。その工夫として最もふさわしいものを次のア～エから二つ選び、記号で答えましょう。

ア はじめに自分の意見を簡潔に述べ、最後までもう一度自分の意見をくり返している。

イ 自分の意見の正しさを裏付けるのに役立つ他の人の意見をしようかいいしている。

ウ 自分の意見について、そう考える理由を述べている。

エ 項目を書き並べたり、見出しをつけたりして、読みやすくしている。

【報告書の下書き】

平成 25 年夏休み「節電」活動報告書

6 年 1 組

鈴木ゆか

1 活動目的

ア

2 活動項目と達成度（よくできた◎、できた○、あまりできなかった△、できなかった×）

A テレビを見ないときは、こまめに消す。	○
B ご飯は早朝にまとめてたく。	◎
C エアコンの設定温度は、28 度にする。	◎
D 必要ない照明は、こまめに消す。	△
E 冷蔵庫は開けたらすぐ閉める。	△
F 電気ポットを使わずに、ガスでお湯をわかす。	○
G 洗濯を夜間に行う。	◎

3 結果（去年の八月の電気料金との比較）

○去年の八月の電気料金……13505円。

○今年の八月の電気料金……10876円。

↓

○約20パーセント、電気代が少なくなった。→約20パーセントの節電に成功。

4 課題と今後に向けて

①

《まとめよう》

★ あう に入る言葉を、 から選びましょう。

・意見文の代表的な構成

① 意見 ↓ 理由や具体例など || あ

② 理由や具体例など ↓ 意見 || い

③ 意見 ↓ 理由や具体例など ↓ 意見 || う

双括型 頭括型 尾括型

①

問4 2の活動項目と達成度を分析して、①に合う言葉を書きましょう。

問3 報告書の下書きの中の②に、活動目的をまとめた一文を、「工夫」「電力消費量」という言葉を使って三十字以上、四十字以内で書きましょう。

第六学年「めあて」登場人物の心情や優れた表現上の工夫をとらえ、自分の考えをまとめよう。

3 みきさんの学級では、次の文章を【前半】と【後半】の二つに分けて、読み取りました。文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

〔次郎の母は病気であり、竜一の父が主治医であった。次郎は母の薬をもらいに薬局に行くと、いつも竜一の姉の春子がやさしくしてくれるので、次郎は彼女に好意をいだいていた。〕

【前半】

暑中休暇が始まるのもあと二三日という、ある日の朝、竜一は学校で次郎の顔を見ると、いかにも得意らしく言った。

「ぼく、休みになったら、すぐ東京見物に行くよ。次郎ちゃんは東京に行ったことある？」

次郎はぶじよくされたような気がして、ちよつと不愉快だった。しかし、おこる気にはなれなかった。それに好奇心も手伝って、もつとくわしい話をきかないわけにはいかなかった。

「いいなあ。東京に親類があるんかい。」

「ううん。まだ親類はないんだけど、すぐ親類ができるんだい。」

次郎にはわけがわからなかった。彼は竜一の顔を問いかえすように見たが、竜一はにやにや笑っているだけだった。

「だれがつれて行くんだい。」

そうたずねた次郎の心には、もし竜一の父だと、その留守中、母の病気はだれがみてくれるだろうか、というかすかな心配があった。

「たいてい母さんだろうと思うけれど、はつきり決まってるや。ぼくは父さんのほうがいいんだがなあ。」

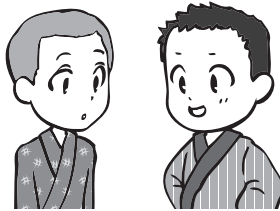
「でも病人をほつたらかしちゃいけないだろう。」

「だから、父さんはどうしてもいけないんだってさ。でも姉ちゃんは、母さんがついていくほうが好きなんだよ。」

「姉ちゃんも行くんかい。」

「姉ちゃんが行くんだよ。だからぼくらもついて行くんだよ。」

次郎の頭には、竜一が「すぐ親類ができる」と言った言葉が、雷光のようにひらめいた。そして急に竜一の顔がにくらしくなり、もう相手になって話したくないような気にさえなった。しかし、一方では、いつまでも竜一にくっついて、**㊦**どんづまりまで生きてみないではいられないような気もした。



() (組) () (番) (名前) ()

問1 みきさんは、【前半】と【後半】では、場面や表現方法などにちがいがあること気づき、そのちがいをノートに次のようにまとめました。A・Bにあてはまるものを、あとのア～エから二つずつ選び、記号で答えましょう。

【前半】 始業前。教室の外で。 …… A
【後半】 始業後。教室の中で。 …… B

ア 次郎が考えたことがくわしく書かれている。
イ 春子がおよめ入りするということが次第に明らかになる。
ウ 会話の合間に、次郎の考えがおりこまれている。
エ 会話はなく、地の文が重ねられている。

A B

問2 **㊦**どんづまりまで生きてみないではいられないような気もした。とあるが、この部分から次郎のどんな気持ちかわかりますか。「春子が」に続けて、書きましょう。

春子が

問3 ①木の枝から果物をもいだ瞬間、足をふみはずして落ちたような気がした。とあるが、次郎のどんな気持ちをたどえていますか。「安心」という言葉を使って五十文字以上、六十文字以内で書きましょう。(句読点がある場合は、句読点も一字に数えます。)

「いつ帰るんだい。」

「学校が始まるまでに帰るよ。」

「母さんかい。」

「うむ、だってぼく一人では帰れないんだもの。」

「姉ちゃんは？」

次郎は何でもないことをきいているように見せかけようとして、竜一とかたを組んだが、その声は変に口の中でねばっていた。

「姉ちゃんもいっしょに帰るよ。」

次郎はほっとした。同時に、竜一の肩にかけていた彼のうでが少しゆるんだ。しかし、竜一はつづけて言った。

「だけど、もう少し東京に行くんだらう。東京におよめ入りするんだから。」

次郎は、④木の枝から果物をもいだ瞬間、足をふみはずして落ちたような気がした。

【後半】

まもなく、始業のかねが鳴った。次郎は教室にはいつても春子のことばかり考え続けた。竜一の言ったことは、まるで出たためのような気もした。しかし、それにもかかわらず、春子が遠くに消えていくたよりなさが、一秒一秒と彼の胸のおくにしみていくのだった。春子のおよめ入り、それは次郎にとって少しも悲しいことではない。彼は、村のむすめたちのよめ入り姿をこれまで何度も見たのであるが、そんな時に春子の場合を想像しても、それは美しいまぼろしでこそあれ、決して苦痛とは感じられなかった。また春子の相手が、このだれであろうと、それも次郎にとって、ほとんど問題ではない。その人物を想像して、それに対して敵意を持つというような気には少しもなれないのである。彼には、ただ春子が薬局から姿を消すのがたまらなくさびしい。それもこの近在^{*}にでもいてもらえればまだいい。夏休み中だけで帰って来るのなら、しんぼうもできる。しかし、竜一の言うのが本当なら、彼女は遠い東京に去るのである。もう一度帰って来るにしても、結局は永久にこの村から姿を消すのである。あれほど自分がかわいがっておきながら、どうしてそんな遠いところに行く気になれるのだろう。自分が幼いころからほしいと思っていた「姉」、やっと平気で「姉ちゃん」と呼びうるようになったその「姉」が、どうしてこんなに無造作に自分からはなれて行くのだろう。

※主治医：…かかりつけの医者。 ※雷光：…いなずま。 ※どんづまり：…物事の最後。 ※近在：…近い村のこと。

（「次郎物語」 下村湖人）

問4 次に示すのは、この文章についての美紀さんと健太さんとの会話です。

□にあてはまる言葉を、「幼い」という言葉を使って二十字以上、二十五字以内で書きましよう。

美紀さん

次郎は、春子のおよめ入りそのものを、いやがっているわけではないのね。

健太さん

そうだね。二度と会えないかもしれないということにショックを受けているんだ。

美紀さん

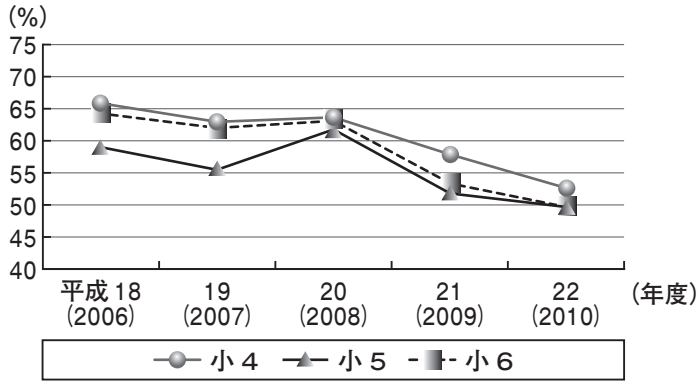
それは、次郎が春子のことを□と感じていたからなのね。

《コラム》—— 会話文と地の文に注目しよう ——

この文章の【前半】では、次郎と竜一の会話文が生生ききと表され、【後半】では、次郎の心情が次々に短めの地の文で表されています。このように「物語」では、表現方法のちがいによっても、登場人物の人物像や心情などを効果的に表現できます。

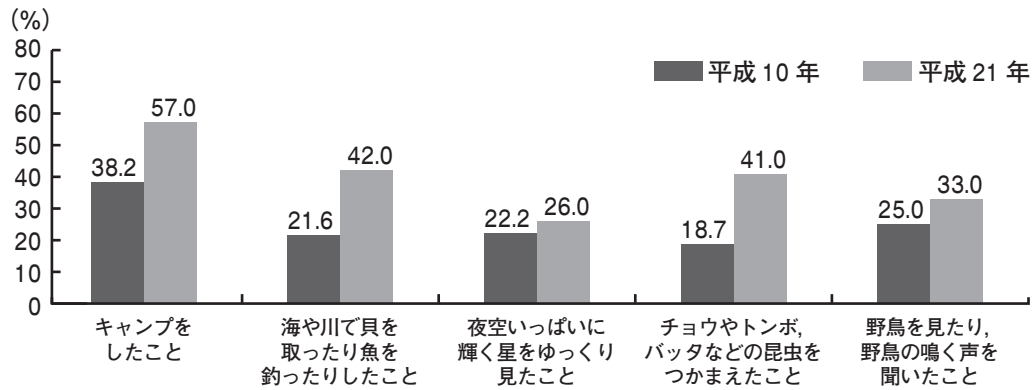
4 次は、現代の子どもたちの自然体験へのかかわりについての資料と、それをもとに田中さんが書いた【意見文の下書きの一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

資料A 自然体験活動への参加



(出典) 独立行政法人国立青少年教育振興機構 (2011)「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査 (平成22年度調査)」

資料B 自然体験をほとんどしたことがない小・中学生の割合



(出典) 独立行政法人国立青少年教育振興機構 (2010)「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査 (平成21年度調査)」

【意見文の下書きの一部】

自然にふれることは大切だと、よく言われます。では、わたしたち、現代の子どもたちは、どのくらい自然にふれる活動を行っているのでしょうか。残念なことですが、現代の子どもたちは、自然にふれる体験をそれほど多く持っているとは言えません。むしろ、近年、子どもたちの自然体験は減る傾向にあるのです。

資料Aから、自然体験活動への小学生の参加率の変化がわかります。これによると、小学校四年生から六年生まで、どの学年においても、平成二十二年度の自然体験活動への参加率は、平成十八年度にくらべて低下しているのです。次に、自然体験をほとんどしたことがない小・中学生の割合が増えているのは、資料Bから読み取れます。わたしは、この資料Bのグラフの中で、特に「海や川で貝を取ったり魚を釣ったりしたこと」、「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」の二つの項目に着目しました。どちらの項目も、平成十年と平成二十一年で比較すると、それらをほとんどしたことの割合が、二倍程度に増えていきます。つまり、が、たいへんな勢いで増加していると言えるでしょう。

では、なぜ、このような現実が生まれているのでしょうか。その理由は、一つではないでしょう。いろいろな理由が組み合わさって、こうした結果が生まれていると考えるのが自然です。たとえば、都市化が進むことで、里山や川が少なくなったからかもしれません。また……

大問①～④の出題の趣旨、正答

Ⅰ P.2・3

1 出題の趣旨

○ 互いの立場や意図を考慮しながら、話し合いを進めることができるかどうかをみる問題である。福祉施設の高齢者との交流の一環として、学校に招待して行う活動について話し合っている場面を設定した。他人の意見をふまえて、自分の意見を適切に述べることの大切さや、高齢者との交流に向けての心構えについても考えさせたい。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) 自分たちの活動をしようかいいし、理解してもらっただけの一方的なものになってしまふから

○ 解説

【目標】に適した【活動案】であるかを吟味し、不適切な部分に気づかせるという設問である。(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことイ)

問2

○ 正答

(例) 高齢者の方も自分たちも楽しめる歌

○ 解説

自分の前の発言者の意見を正しく理解し、その内容をふまえて発言をする、また、改善策を考えるための契機という位置づけの設問である。反対するだけではなく、問題解決をするための姿勢を養いたい。

(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことア・オ)

問3

○ 正答

(例) 高齢者の方々から教わりながら、いっしょに楽しむ

※高齢者の方々を楽しんでもらっただけではなく、自分たちも楽しむという内容であれば可。

○ 解説

島田さんは、活動案②が、高齢者の方々には何かしてあげることでも楽しんでもらえると思われているが、その意見について、井上さんは「私もいっしょに楽しむ」という視点がぬけているのではないかと指摘しているのである。(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことエ・オ)

問4

○ 正答

(例) 今話し合っている内容から外れているので話をもとにもどします。() ※論点がずれてしまっていることを指摘し、話し合うべき内容へと軌道修正する旨が示せていれば可。

○ 解説

話し合いの進行における司会者の役割をおさえ、適切な言葉を用いて司会者の発言を簡潔に表現することをねらった設問である。

(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことオ)

問5

○ 正答

(例1) 私は、川村さんの意見に反対です。そのわけは、私たちが育てた花をプレゼントすることは、自分たちの学校での活動をしようかいうことになると思うからです。

(例2) 私は、川村さんの意見に賛成です。そのわけは、花はすぐかかれてしまうので楽しい気持ちですぐにうすれてしまうと思うからです。

※賛成、反対の立場、その理由の二点が示されていれば可。

○ 解説

この設問では、発言者の意図を受けて、自分の立場を明確にして、その考えと根拠を明示する。根拠を述べる定型も確認させるとよい。

(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことエ)

1 出題の趣旨

○ 課題について意見文を書いたり、調べ学習をしたりすることには、事実を分析する能力と、柔軟な発想力が必要とされる。意見を明示する際の論の展開の仕方や文末の定型、理由・根拠や具体例を挙げることで説得力を強化するための表現方法を身につけさせておきたい。また、活動に関する「報告書」については、必要となる項目をおさえさせつつ、定型となる書式への理解を深めさせたい。

2 正答について

問1

○ 正答

(例) (電力の安定供給のためには、) 電力需要のピークの時間帯に節電をするのが有効であるという意見。

○ 解説

意見文において、グラフがどのようなことを説明するために用いられているかを考えさせる問題。グラフでは、電力需要の推移が描かれているが、それが「電力需要のピークの時間帯」を説明するための材料となっていることをとらえる。「停電を防ぐために、電力需要のピークの時間帯に節電をするのが有効である。」↓「そのためには、電力需要のピークの時間帯を知る必要がある。」↓「グラフから、それが読み取れる。」という流れを理解させ、資料の使い方をも身につけさせることを目的としている。
(第五学年及び第六学年 書くこと エ)

問2

○ 正答 ア・ウ (順不同可)

○ 解説

意見文の構成の上で、さまざまな工夫ができることを理解させるため

の問題である。この意見文において、構成上、どんな工夫がなされているかを意識してもらいたい。また、イの「自分の意見の正しさを裏付けるのに役立つ他の人の意見を紹介している。」エの「項目を書き並べたり見出しをつけたりして読みやすくしている。」という工夫は、この文章ではなされていないが、他の文章においては、そうした工夫もできることを補足して示しておきたい。
(第五学年及び第六学年 書くこと イ・ウ)

問3

○ 正答

(例) 節電に役立つさまざまな工夫を行い、わが家の電力消費量をへらす。
(三十一字)

○ 解説

報告書に書かれた活動の「目的」を、意見文との関連において把握できているかどうかを見る問題である。報告書を書く際に、そのもともと目的を明示することの大切さを知ってもらいたい。
(第五学年及び第六学年 書くこと ア)

問4

○ 正答

(例) DとEの内容ができなかったので、照明のスイッチの近くや冷蔵庫のドアに、注意をうながすはり紙をして、いっそうの節電にはげみたい。

○ 解説

達成度を分析して、具体的な案が書けていれば可。文章や資料から根拠をさがし、自分の考えを書く力を養いたい。
(第五学年及び第六学年 書くこと ウ・エ)

《まとめよう》

あ 頭括型 い 尾括型 う 双括型

1 出題の趣旨

○ 文学的な文章に関しては、場面の様子、登場人物同士の関係、その人物像や心情を的確に読み取ること、作者が描いている世界をより深く追体験することが可能になる。また、比喻などの優れた表現や叙述方法の特色に目を向けることで、物語における表現効果や、それによって表される心情や人物像などをとらえることができる。同時に、そうして得られた解釈を、自分の力で表現することも望まれる。以上のような力をも身につけさせることを目的とした。

2 正答について

問1

○ 正答

A：イ・ウ（順不同可） B：ア・エ（順不同可）

○ 解説

同じ文章中の【前半】と【後半】での表現方法のちがいや、内容のちがいを問う問題である。前半では、次郎と竜一の会話が進展するにつれて、春子の「およめ入り」という事実が次第に明らかになっていくことを、後半では、会話が姿を消し、地の文によって春子に対する次郎の思いがくわしく説明されていることをとらえさせたい。

（第五学年及び第六学年 読むこと イ）

問2

○ 正答

（例）（春子が）東京におよめ入りするのではないかという疑問のはつきりとした答えを聞き出したいという気持ち。

○ 解説

文学的な表現が具体的に何を表現しているのかを、登場人物の心情と

関連させて読み取る力を問う問題である。次郎が、「すぐ親類ができるんだい。」という竜一の言葉から「春子がおよめ入りするのではないか」という疑問を持ったこと、また「どんづまりまで行く」が、その疑問のはつきりした答えを竜一から聞き出すことを表している、ということが読み取れていて、それが適切に表現できていれば正解である。

（第五学年及び第六学年 読むこと イ）

問3

○ 正答

（例）春子が東京からもどると聞いて安心した直後に、春子が東京におよめ入りするという話を聞かされて、がっかりする気持ち。（五十七字）

○ 解説

比喻表現が表している内容を読み解く力を問う問題である。その前にある「ほっとした」にも着目して、「木の枝から果物をもいだ」、「足をふみはずして落つこちた」というそれぞれの比喻が表す内容を、適切に表現できていれば正解である。（第五学年及び第六学年 読むこと イ）

問4

○ 正答

（例）自分が幼いころからほしいと思っていた姉のような存在（二十五字）

○ 解説

主人公の他の登場人物に対する心情をとらえる問題。【後半】で描かれている次郎の春子への思いを総合的にとらえ、その根幹に「春子を自分が幼いころからほしいと思っていた姉のような存在としてとらえる視点」があることを読み取らせたい。また、「春子のおよめ入り、それは……少しも悲しいことではない。」「春子の相手が、このだれであろうと、……ほとんど問題ではない。」など、「……ではない」という否定的な表現も重要であることを意識させたい。

（第五学年及び第六学年 読むこと オ）

1 出題の趣旨

○ ある問題についての複数の資料と、それについての文章から読み取った内容を根拠に、その問題についての自分の考えをまとめ、さらに、その考えを深めるために、もっと別の資料を活用する力を問うた問題である。正答を出すには、資料と文章とを照らし合わせ、その関連を正しく読み取ること、その読み取った内容を、より抽象的な形にまとめることが必要とされる。

2 正答について

問1

○ 正答

次に、自然

○ 解説

資料と文章とを照らし合わせ、資料のちがいによって文章の話題も変化していること、その文章の話題の変化に応じて段落も区切るのが望ましいということに気づかせたい。

(第五学年及び第六学年 読むこと ア)

問2

○ 正答

(例) 自然の生きものに直接手でふれる体験をしたことのない小・中学生の割合 (三十三字)

○ 解説

資料から読み取った内容を、抽象化してまとめる力を問うた問題。「海や川で貝を取ったり魚を釣ったりしたこと」と「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」という二つの項目に共通するのが「自然の生きものに直接手でふれる体験」であることを読み取ることができ

ており、なおかつ空欄にあてはめるときに自然に前後が通じる形で答えなければ、十分な状態とする。(第五学年及び第六学年 読むこと ア)

問3

○ 正答

(例) 自然の生きものにふれようという意欲がとばしいこと

○ 解説

資料がどのようなことを判断するために役立つのかを考えさせる問題であると同時に、資料から読み取った内容を根拠に、それを抽象化してまとめる力を問うた問題である。この問題の場合、「生きものにふれる機会が少ないということ」と、正答の「自然の生きものにふれようという意欲がとばしいこと」が、二つの候補として対比されていることも意識させたい。

(第五学年及び第六学年 読むこと オ)

《まとめよう》

あ 数値 い 変化 う 理由 え 考え

第六学年「めあて」明確に伝わるように、話の構成を工夫しながら話そう。

() (組) () (番号前) ()

Ⅰ 森さんの学校では、六年生が修学旅行で長崎に行きます。修学旅行実行委員長である森さんは、各学級を訪ねて、児童会としての取り組みのお願いをすることにしました。そのことを伝えている次の【森さんからのお願い】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【森さんからのお願い】

みなさん、こんにちは。ア わたしたち六年生は、来月の修学旅行で長崎に行きます。イ ところで、みなさん、知っていますか。ウ
だから、わたしたちは、長崎の平和公園に行き、「平和がずっと続きますように。」といのりながら、千羽づるをささげたいと思っています。エ
そこで、みなさんにもぜひ、千羽づるを折る取り組みに参加してもらいたいと思っています。① 昼休みに、体育館前の廊下に千羽づるコーナーを作ります。② その場所で修学旅行実行委員といっしょにつるを折ります。③ みなさんと千羽づるをつくりあげて、学校全体のいのりとして長崎に届けたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

問一 【森さんからのお願い】に、次の一文を入れるとすると、ア ① ② ③ のどこに入れたらよいでしょうか。記号を書きましよう。

長崎では、今から約七十年前、原子ばくだんによって、多くの人の命がうばわれてしまいました。

問二 森さんは、千羽づるコーナーでつるを折る取り組みと各教室でもつるを折ってもらう取り組みの両方を考えました。右の【森さんからのお願い】の①②③の「どこ」に、どんな「内容」の言葉を入れると、聞いている人に正確に伝わりますか。あなたの考えを書きましよう。

加えるところ

内容

という言葉を入れる。

第六学年「めあて」場に応じた適切な言葉づかいで話そう。

() (組) () (番号前) ()

2 青木さんは、先日社会科学見学でお世話になった自動車工場の池田さんを訪ねました。次の□内はそのときの会話です。これを読んであとの問いに答えましょう。

青木 「こんにちは。社会科学見学でお世話になった第一小学校六年の青木です。先日は、おいそがしい中、工場の中をくわしく案内してください、ありがとうございます。ありがとうございました。」

池田 「こちらこそ、ありがとうございます。先日は、みなさん熱心に見学していましたね。」

青木 「はい。とてもよい勉強になったと、みんな喜んでいました。ロボットが金属をとかして部品をつなぐ仕事をする姿に、とてもおどろきました。また、人が部品を点検するときの、すばやい動きにも感心しました。」

池田 「どの工程でも、人の目で確認をして、製品の仕上がりの状態に問題がないか、チェックをします。その工程は、製品を作る全体の仮定の中でとても重要になります。」

青木 「こちらの工場のパンフレットを、わたしたちの手書きで作ってみました。池田さんにア聞いたお話も、こちらに書かせていただきました。」

池田 「それは、うれしいですね。みなさんが一生懸命作ってくれたのですね。」

青木 「はい。よろしければ、お時間のあるときにイ見てください。そしてウと、ありがとうございます。」

問1 文章中にはまちがっている漢字があります。その漢字を探して、正しい漢字を書きましょう。

問2 ア聞いた、イ見て を、池田さんに対する敬意を表した七字以内の表現に直し、すべてひらがなで書きましょう。

ア	<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div>
イ	<div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div> <div style="border-bottom: 1px dashed black; margin-bottom: 2px;"></div>

問3 ウには、「感想を聞かせてほしい」という希望を伝える表現が入ります。言葉づかに気をつけて、書きましょう。

第六学年「めあて」自分の意見を筋道立てて話そう。

() (組) () (番) 名前 ()

3 高木さんの学級では、国語の授業で「ペットを飼うなら、犬とねこのどちらがよいか？」というテーマで、犬派とねこ派の二チームに分かれて討論をするようになりました。高木さんは「犬派」となり、あらかじめ用意した【メモ】に沿って、自分の意見を述べています。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【高木さんの意見】

わたしは、ペットを飼うなら、犬の方がよいと思います。なぜなら、**ア**からです。ねこは、家の中では遊びますが、外遊びをいっしょに楽しむことは、むずかしいと思います。また、犬は、きちんとしつけをすると、飼い主の言うことをよくききます。犬は本来、飼い主の役に立ちたいという欲求があるそうです。先日、テレビである犬がもうどう犬になる訓練の様子を見ましたが、人を喜ばせようとがんばる犬の姿に感動しました。ねこは、自由気ままに過ごすことが好きなので、犬のような従順さには欠けると思います。みなさんの中には、**イ**犬はほえるので、よくない、という意見の人もいるかと思いますが、わたしは、**ウ**と思います。このような理由から、ペットを飼うなら、わたしは犬をおすすめします。

【高木さんが用意したメモ】

・自分の立場	↓ 犬派
・理由①	犬…… 活動的・楽しい 散歩・ボール
・理由②	ねこ…… 家の中だけ・外遊び× 犬…… 言うことをきく↓しつけ 本来の欲求
・反論	テレビも、もうどう犬になる訓練 人を喜ばせようとがんばる犬↓感動 ねこ…… 自由気まま・従順さ×
・結論	ほえるのがよくないのではないかと ↓ 犬をすすめる

問1 高木さんは、一つ目の理由の中で、どんなことを言ったのでしょうか。下のメモをもとにして、

アに入る言葉を考えて書きましょう。

問2 高木さんは、**イ**犬はほえるので、よくない、という意見の人もいるかと思いますが、自分に対する反対意見を想定して述べて、それに対する反対意見を **ウ** のように言いました。 **ウ** にあてはまる高木さんの意見を考えて書きましょう。

第八学年【めあて】話し手の意図をとらえ、自分の意見とくらべて考えをまとめよう。

() (組) () (番 名前) ()

4 松野さんは、国語の宿題でことわざについて調べていて、ある疑問を持ち、先生に質問しました。次は、松野さんと先生との会話です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

松野 わたしは、「善は急げ」と反対の意味のことわざは、「急がば回れ」

だと思っていました。でも、ことわざ辞典を引いてみると、「善は急げ」の反対の意味のことわざのところに、「急がば回れ」はのっ

先生 松野さんは、その二つのことわざの意味を、単にスピードのちがいで

考えていたのではないかな。つまり、「善は急げ」は「速いスピードで作業しろ。」「急がば回れ」は「ゆっくり作業しろ。」というように。

松野 ちがうのですか。

先生 こんな例文を考えてごらん。「それは、いい考えだ。『善は急げ』

というから、さっそく始めるとしよう。」

松野 あつ。わかりました。「善は急げ」というのは、「速いスピードで作

業しろ。」という意味ではなく、㉗「㉗」という意味なのです。

先生 「急がば回れ」の方も、単に「ゆっくり作業しろ。」というのでは

なく、「手間や時間がかかっても、あわてずに安全で確実な方法をとった方が、結局は早く終わる。」という意味のことわざだね。だから、この両者は、矛盾なく一つのことに関して使うこともできるはずだよ。たとえば、松野さんが、お父さんから物置の片づけをたのまれたでしょう。そのとき、お父さんが「物置の片づけは、『善は急げ』、そして『急がば回れ』の気持ちでやりなさい。」とおっしゃったとする。この言い方は、ちよつと変なように聞こえるけれども、よく考えてみると、実はちよつとも変ではない。このお父さんの言葉が、具体的にどんなことを表しているかは、わかりますね。

松野 それは、「物置の片づけに㉘」ということですね。たしかに矛盾しませんね。

問1 先生が「それは、いい考えだ。『善は急げ』というから、さっそく始めるとしよう。」という例文を挙げた意図をふまえた上で、㉗にあてはまる言葉を、「よいと思ったこと」という言葉を使って、十五字以上、二十字以内で書きましょう。

					15					
					20					

問2 「善は急げ」「急がば回れ」という二つのことわざについての先生の説明をふまえた上で、㉘にあてはまる言葉を書きましょう。

--	--

第六学年「めあて」自分の課題について調べ、事実と感想・意見を区別して書く。

() () 組 () () 番 名前 ()

6 川上さんの学級では、朝食の大切さについて学習しています。先日、「朝食を毎日食べているか」という調査を行い、①の表のような結果が出ました。その翌日、栄養士の先生からお話があり、その際、川上さんは②のようなメモを取り、③のような作文を書きました。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

①【朝食を毎日食べているか】

毎日食べる	29人
時々食べる	8人
全然食べない	3人

〈朝食を食べない理由〉
 ・時間がない
 ・食欲がない
 ・めんどうくさい……

②【栄養士の先生からのお話】

●朝食＝体を目覚めさせる

朝食をとらないと…

- ・活動エネルギーの不足
- ・脳や筋肉に栄養が届かない
- ・ねむくなる、イライラする、気分が悪くなる

→生活習慣を見直そう

③【川上さんの作文】

わたしたちのクラスには、朝食を毎日きちんと食べている人が、二十九人、毎日食べていない人が、十一人います。朝は、時間がない、食欲がない、めんどうくさい、などの理由で、朝食を食べないというアンケート結果が出ました。

先日、栄養士の先生から、朝食がどんなに大切であるか、というお話を聞きました。しっかり朝食をとることには、体を目覚めさせる働きがあるそうです。

だから、朝食をとらないと、活動エネルギーが足りなくなり、元気にきびきびと動けなくなります。脳や筋肉に栄養が届かないので、頭も体も十分に働かなくなります。このようなことを、栄養士の先生から教えてもらいました。また、栄養素が足りていない状態だと、ねむくなったり、わけもなくイライラしたり、気分が悪くなったりするそうです。それに、朝食をぬいてしまうと、体の中にしぼうがたまってしまい、血液の状態も悪くなり、肥満の原因になることもあるそうです。わたしたちの生活習慣を見直して、朝食を毎日きちんと食べましょう、というお話でした。

調査結果と先生のお話を聞いて、自分たちの生活のリズムを改める必要があると思いました。たとえば、今より十五分早く起きることなどを、実行に移し、毎日きちんと朝食をとりたいです。そして、元気に過ごしたい。将来の健康作りにも役立てたいと思います。

問1 川上さんの作文を読んだ中野さんは、調査結果や栄養士の先生のお話からわかったこと以外のこと、作文に書かれていることに気づきました。その部分を【川上さんの作文】から一文で探し、はじめの六字をぬき出しましょう。(句読点がある場合は、句読点も一字に数えます。)

問2 川上さんは、「毎日きちんと朝食をとって、元気に過ごし、将来の健康作りに役立てようと考えています。作文を見直しているときに「毎日きちんと朝食をとりたいたいです」の部分をもう少しくわしく書いた方が読む人に伝わるだろうと考えました。くわしく書くためには、どんなことが分かる資料を集めたらよいのでしょうか。考えて書きましょう。

--

第六学年「めあて」文章全体の構成の効果を考えて書こう。

() 組 () 番 名前 ()

7 まさきさんの学校では、卒業制作で一人一人が校歌の鳴るオルゴールを作り、その箱に思い出の絵や文字をかきました。次に示すのは、このオルゴールについて、まさきさんが「思い出のオルゴール」という題で書いた作文です。これらを読んで、あとの問いに答えましょう。

最初のうち、ぼくは、オルゴールの箱に、何か文字で言葉をかこうか、それとも絵をかこうか迷っていました。しかし、結局、トロンボーンの絵をかくことに決めました。

なぜなら、トロンボーンは、ブラスバンド部でぼくがふいていた思い出の楽器だからです。ぼくたちブラスバンド部では、入学式、運動会、始業式、終業式、卒業式など、校内の行事で、何度も「校歌」を演奏しました。ぼくにとって、「トロンボーン」と「校歌」は、小学校の最大の思い出といえます。

トロンボーンの練習を思い出し、オルゴール作りでも集中してがんばりました。黄色くぬったオルゴール。その箱のふたにトロンボーンの絵を黒くかき、まわりに色とりどりの音符のマークをたくさんかきました。「トロンボーンから、楽しそうな音が出ているみたい。」と、友達からほめられました。

中学入学後も、このオルゴールを聞くと、ぼくはきつと元気になれると思います。なぜなら、オルゴールを聞くたびに、トロンボーンの練習をがんばった小学生時代を、なつかしく思い出すにちがいないからです。ブラスバンド部に入ったばかりのころ、ぼくはトロンボーンの音を出すことさえできませんでした。しかし、がんばって練習しているうちに、いつの間にか曲を演奏することができるようになっていました。このオルゴールは、努力すれば成果が出るということをぼくに思い出させ、ぼくをきつと元気にしてくれるはずですよ。

問1 次に示すのは、作文を書くために、まさきさんが最初に思いつくまま作ったカードです。まさきさんは、このカードを並べかえて、文章の構成を決めました。まさきさんは、どんな順番にカードを並べ直したと思われませんか。順番を記号で書きましょう。

A	オルゴール作り。トロンボーンの絵に音符のマーク。
B	オルゴール＝聞けば、元気が出るだろう。
C	理由。小学生時代を思い出すから。努力→成果。
D	迷い。→トロンボーンをかくことに決めた。
E	理由。トロンボーンと校歌＝最大の思い出だから。



問2 ブラスバンド部に……いたのです。この部分は、まさきさんが、あとから書き加えた部分です。まさきさんは、この部分を書き加えることによって、どのような効果をねらったと思われますか。

--	--

㊦ もっと新聞を読もう！

新聞には、たくさんの役立つおもしろい情報があります。一度、新聞をじっくりと読んでみましょう。そして、自分が興味をもった記事、役立つ記事、人に教えてあげたい記事などを選んで、スクラップを作ってみませんか？

図書委員会では、以下のとおり、「第1回スクラップ教室」を開きます。

9月10日の火曜日、15時40分から16時40分に図書室で行います。のりとはさみと筆記用具を持ってきてください。参加希望者が、60人になったら、しめ切ります。

★参加希望者は、図書ポストに備え付けの参加用紙(60枚用意)に、学年・組・氏名を書き、ポストに入れてください。

★今回参加してくださる方には、図書委員会からさしあげます。

▼図書委員会オリジナル
キャラクター「ブックうさぎ」



みんなの参加を待っていますよ。

第八学年「めあて」表現の効果について工夫しながら書こう。

() (組) () (番号前)

8 図書委員会では、全校生徒にもっと新聞を読んで活用してもらうことを目的に、「スクラップ教室」を開くことになりました。図書委員の平田さんは、「スクラップ教室」についての、壁新聞の記事を書くことになりました。次は、平田さんの書いている記事です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

問1 平田さんは、㊦の「見出し」が壁新聞の目的にあっていないので変えることにしました。「見出し」にふさわしい言葉を考えて、十五字以内で書きましょう。

問2 [] を平田さんは、読み手に分かりやすいように、情報を整理して、大切な点を書き並べて表すことにしました。横書きで書き直しましょう。

第六学年「めあて」「二つの文章を読んで、表現や構成のちがいを読み取ろう。」

() (組) () (番 名前) ()

9 図書委員の山口さんと高橋さんは、図書便りにのせる「読書のすすめ」という題名の文章を書くことになりました。次は、山口さんと高橋さんが書いた文章です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【山口さんが書いた文章】

読書は、とても楽しく、また役立つものだ。みんな、もっと本を読もう。「本なんてつまらないから読まない。」と思っている人もいるだろう。しかし、実際に読んでみたら、案外夢中になるかもしれない。

読書によって、知識を広げ、深めることができる。本を読むことで、日本の歴史について、もっとくわしくなることもできる。それに、今の社会に起きている問題について、より深く知ることもできる。

また、読書をする、たくさんの感動に出会うことができる。小説を読んで「これからどうなるのだろう。」とドキドキしたり、詩を読んで美しい情景にうっとりしたりすることができる。

以上が、わたしがみなさんに読書をすすめる二つの理由である。

【高橋さんが書いた文章】

みなさんは、読書には、どんな楽しさ、すばらしさがあると思いますか。読書をする、たくさんの感動に出会うことができます。小説を読んで「これからどうなるのだろう。」とドキドキしたり、詩を読んで美しい情景にうっとりしたりするのは、どれも読書から得られる感動です。

また、読書によって、知識を広げ、深めることができます。日本の歴史についてもっとくわしくなることもできるし、今の社会に起きている問題について、より深く知ることもできます。

だから、読書とは、とても楽しく、役立つものだと言えるのではないでしょう。みなさんに、もっともって読書に親しんでもらいたいと思います。

問1 次のアからエのうち、【山口さんが書いた文章】と、【高橋さんが書いた文章】それぞれにあてはまるものを二つずつえらびましょう。

ア 敬体で、読む人に語りかけるように書かれている。

イ 常体で、最初に主張を述べ、そのあとに理由を述べるといふ展開で書かれている。

ウ 予想される反論と、それに対する自分の考えが書かれている。

エ 最初に問題を投げかけ、それに答える形で話を進め、最後に主張を述べている。

山口さん

高橋さん

問2 山口さんも高橋さんも同じ理由から、読書をすすめています。二人に共通する理由を「読書をすすめる理由は、」の書き出しで、「からです。」に続くように、三十字以上、三十五字以内で書きましょう。

読書をすすめる理由は、

30									
35									

からです。

第八学年【めあて】文章の内容を正確にとらえて要旨を読み取る。

() (組) () (番 名前) ()

⑩ 丸山さんの学級では、次の「渡り鳥」に関する文章を読んで、要旨をまとめることになりました。次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。(1)～(5)は段落番号を表します。

① 群れて飛んでいく鳥では、その年初めて渡りをする未経験な鳥でも、経験を積んだおとなたちにくっついていくことで、目的地にたどり着くことはできるでしょう。しかし、多くの渡り鳥は単独で飛びます。渡りを未経験な鳥でも、独力で飛べなければならないのなら、目的地にたどり着くためになんらかの「装置」を備えているはずですよ。また、群れて飛ぶ鳥であっても、経験以外に頼るものがないのでは心もとないでしょう。まさに、鳥たちは、人間の旅人と同様、地図とコンパスにあたるものを身につけているようですよ。

② 渡り鳥のように長距離を飛ぶには、風の方向は大きないきよをあたえます。風に乗る方がずっと楽に飛べますし、季節風のように、ある時期に必ず一定方向にふく風があり、それが渡りの方向と一致していれば、それに乗っていかない手はありません。実際、多くの渡り鳥はそうしているようです。そして、風向きがちよつと変わった場合などには、そちらにふき寄せられてしまう鳥もいることから、渡り鳥が風をうまく利用して飛んでいることは確かですよ。

③ しかし、多くの鳥たちは、風の向きを考慮に入れて修正しながら、子午線に対して一定の方向をとるといような航法を身につけています。そのためには、なんらかのコンパスがあるはずですよ。長年の研究の結果、それは、太陽の偏光面を利用した太陽コンパス、特定の星や星座の位置による星座コンパス、そして地磁気であることがわかってきました。

④ 多くの鳥たちは、夜空の星座を目印に方向を決めています。アメリカの鳥類学者ステイヴ・エムレンたちは、渡りをする時期の鳥たちに夜空が見えるようにし、その夜空の星座の配置を変える実験をおこなって、鳥たちが本当に星座を目印に方向を見定めていることを示しました。彼らは、ルリノジコという鳥をプラネタリウムの中に入れ、見える星座の位置が変わると、飛び方向も変わることを実証してみせたのです。

⑤ また、多くの鳥たちは、日没直後に渡りの飛行を開始します。そのとき、日没時の太陽の偏光面は方向を定めるうえでの重要な手がかりになっています。鳥たちはまた、地磁気を感じてそれを目安に使っているようですよ。このようにいくつかのコンパスを、鳥たちは生まれつき備えており、それらを駆使して方向を見定めながら、遺伝的に決められたスケジュールのつとめて、一定期間飛行を続けると、目的地に着ける、というのが渡りのしくみであると言えるでしょう。

※コンパス：方位を測定する計器。 ※子午線：北極と南極を結ぶ大円。
 ※偏光面：電場や磁場が特定の方向にだけ振動する光の振動方向を含む面。

問一 丸山さんは、この文章をノートにまとめました。(あ)には、[2]段落の内容を書き出してください。①の「渡りのしくみ」について「多くの鳥たちは、」の書き出しで、四十字以上、五十字以内でまとめましょう。

【丸山さんのノート】

段落 内容

1 渡り鳥↓目的地にたどり着くための「装置」をもっている。 ……コンパス

2 渡り鳥は、
 25
 20

3 しかし、子午線に対して一定の方向をとる。
 三つの「コンパス」をもっているから。
 ↑太陽コンパス
 ↑星座コンパス
 ↑①

4 星座コンパスについて ↓ アメリカの鳥類学者…実証

5 地磁気について
 ①：「渡りのしくみ」

多	く	の	鳥	た	ち	は	、
50	40						

第六学年「めあて」事実と感想、意見などの関係をとらえ、筆者の主張を読み取ろう。

() (組) () (番号前) ()

Ⅱ つとむさんの学級では、次の文章について学習しています。あとの問いに答えましょう。

アメリカで暮らしていた次男の話の続きだが、次男の家にいるお手伝いさんが台所で働いていて、手からコップがすべり落ちて割れてしまった。日本人ならこういうとき「私がコップを割りました」と言う。でもアメリカの人はけっしてこういうことは言わないそうだ。「グラスが割れたよ」と言ってきた。「お前が割ったんじゃないか、なぜ自分が割ったと言わないのか」と言ったら、ビックリしていたという。英語で「私がコップを割った」というとどういう意味になるか。壁か何かにコップをわざとぶつけて割った、という意味になつてしまうようだ。トンカチなんかでコップをたたけば割れる。そういうときに「私がコップを割った」と言う。コップがあやまって手からすべって割れたときはコップが割れたんであって、私が割ったんじゃない、とがんばるそうだ。理屈を言えば確かにそうである。

ヨーロッパ人ばかりいるところで、こういう話をしたら、アメリカ人と全く同じ反応をした。彼らもそういうときは「コップを割りました」とは言わない。「コップが割れた」と言うと言う。それで私は中国人にも聞いてみた。中国人は日本人と近いから日本人と同じ表現をするかと思つたのだが、彼らもコップが手からすべり落ちて割れたのはコップが割れたんであって、私が割ったのではない。だから「私がコップを割りました」とは言わないというのである。もしかしたらそういう言い方をするのは、日本人だけかもしれない。これはすばらしいことではないだろうか。

なぜ日本人に限っては、手からすべり落ちたコップに対して「私が割った」と言うか。これは日本人の責任感だと思ふ。つまり日本人はこう考えるのである。自分の手からコップがすべり落ちて割れたのは、自分が油断していたからだ。自分がすっかりしていたならばこのコップは割れなかった。自分がうっかりしていたからコップが割れた。このことの責任は自分にある。だから「コップを割りました」という言い方になるのである。こういう考え方は日本人の美德であると私は考える。

〔「ホンモノの日本語を話していますか?」金田一春彦〕

問1 つとむさんは、あやまってコップが手からすべって割れたとき、アメリカ人、中国人の考え方と日本人の考え方のちがいを次のようにまとめました。

〔アメリカ人・中国人〕：「コップが割れた」

↓あやまって割れたのだから、私が割ったのではない。

〔日本人〕：「コップを割った」

↓割れたのは、 からだ。

問2 こういう考え方は日本人の美德とありますが、こういう考え方のことを、筆者はなぜ日本人の美德といっているのでしょうか。文章中に書かれている言葉を使って、四十五字以上、六十字以内で書きましよう。

45

60

小問①～⑫の正答

【話すこと・聞くこと】

① 正答 P.14

問1 ウ

問2 (例1) (加えるところ) ①

(内容) 取り組みは二つあります。一つは、各学級で折ったものを
実行委員が集めます。もう一つは、(という言葉を入れる。)

(例2) (加えるところ) ③

(内容) この取り組みに加えて、各教室でもつるを折ってもらおう
と考えています。

② 正答 P.15

問1 過程

問2 ア (例1) うかがった

(例2) おききした

① (例) ごらん (になって)

問3 (例) (ご) 感想を聞かせていただける (つたえていただける)

③ 正答 P.16

問1 (例) 犬とは散歩に行ったり、広い公園でボールを投げて持ってこ

させたり、いっしょに外遊びができたりして、活動的に楽しく過
ごせる

※同意文であれば可。

問2 (例) きちんとしつけをすればほえなくなる

※犬がほえることの欠点に対して、具体的な反論が述べられてい
れば可。

④ 正答 P.17

問1 (例) よいと思ったことには、早めに着手しろ。(十九字)

問2 (例) 早めに取りかかって、しかも、早く終わらせるには、あわて
ずに安全で確実な方法で作業しなさい。

※同意文であれば可。

【書くこと】

5 正答 P.18

問1 (例) 女子では全体の二十四・二パーセント(十七字)

問2 (例) 運動部やスポーツクラブに入っていない人が、運動不足のけい向がある

6 正答 P.19

問1 それに、朝食

問2 (例1) 朝食では、何を食べるのがよいか。

(例2) 朝食では、どれだけ量を食べるのがよいか。

7 正答 P.20

問1 D↓E↓A↓B↓C

問2 (例) 「このオルゴールが、努力すれば成果が出るということを思ひ出させてくれる」という自分の考えに、より説得力を持たせることができるという効果。

8 正答 P.21

問1 (例1) スクラップ作りにちよう戦(十二字)

(例2) スクラップっておもしろい(十二字)

(例3) 新聞がスクラップに大変身(十二字)

※最後に「！」が付くのにふさわしく、見出しとして注目を集める表現であれば可。

問2

日時	9月10日(火)	15:40 ~ 16:40
場所	図書室	
持ち物	のり、はさみ、筆記用具	
定員	60名	

【読むこと】

9 正答 P.22

問1 山口さん イ・ウ（順不同可） 高橋さん ア・エ（順不同可）

問2 (例) 知識を広げ深めることができ、たくさんの感動に出会えることができる（三十二字）

10 正答 P.23

問1 (例) (渡り鳥は、) 風の方向を利用して長距離を飛ぶ。

(い) 地磁気

問2 (例) 多くの鳥たちは、太陽コンパス、星座コンパス、地磁気を駆使して、目的地への渡りをおこなっている。（四十七字）

※最後の段落の「いくつかのコンパス」に、「太陽コンパス、星座コンパス、地磁気」をあてはめて、「渡りのしくみ」が説明できているならば、正解。「地磁気を駆使して」は「地磁気を感じて」でも可。

11 正答 P.24

問1 自分が油断していた（自分がうっかりしていた）

問2 (例) 日本人が、責任感から「コップを割りました」という言い方をすることをすばらしいと思っているから。（四十七字）

※筆者が、「コップを割りました」という言い方に、日本人の責任感が表れ出ていると考えていることをおさえていけば、正解。

12 正答 P.25

問1 (例) モコを向かい風で飛ばすと、うまく飛べる（こと）。

問2 (例1) 平橋さんは、タカが本能的に知っていることの多きにおどろいて、それに感心しています。ここから、平橋さんは、自分がすごいとは思っていない、けんきよな人だと分かります。

(例2) 平橋さんは、タカの本能を尊重して広い心で接しています。ここから、平橋さんは、タカを心から愛している人だと分かります。※「すごい」がタカの優れた本能に向けられた言葉であること、平橋さんは、理央の「すごい」が自分への賛辞だと思っていないことをおさえたうえで、考えられる人がらが答えられていなければ、正解。



福岡県教育委員会